J. JILM 72 (2022, 12) 727

#### 支部便り .....

# 関東支部-第8回若手研究者ポスター発表会・特別講演会-Kanto Branch -8th Young Researcher Poster Presentation and Special Lecture-

田村 洋介 Yosuke TAMURA

令和4年9月17日(土)に関東支部総会および若手研究者 ポスター発表会・特別講演会を開催した。過日、関東支部70 周年記念行事をハイブリッド開催したが、思いのほか準備に 時間を要したため、今回はオンライン開催とした。Web会議 ソフト(Zoom)を利用したオンライン総会の後、そのままブ レイクアウトルーム機能を利用したポスター発表会(図1)へ と移行できるように、山本委員(宇都宮大学)と西田委員(群 馬大学)が設定を担当した。



図1 ポスター発表会スライド説明の一例

当日は26件の発表に約50名が参加した。支部長による開会 挨拶の後, Aグループ (11:00~12:30) とBグループ (13:30 ~15:00) に分かれて発表会が行われた。発表会は若手研究者 の育成が目的であるため複数の賞が用意されている。優秀ポ スター賞は、筆頭発表者が他の発表を評価し、その結果に基 づいて選考される。特に優れた発表には最優秀ポスター賞が 贈られる。関東支部賞は学側運営委員と支部長、関東支部特 別賞は産側運営委員が選考する。優秀学生ポスター賞は学部 生の発表を対象とし、運営委員の若手WGが選ぶ。このよう にさまざまな視点で優れた発表を見出し、評価するのが審査 の特長となっている。以上より90分という限られた時間の中 で活発な質疑応答が行われた。

表1に各賞の受賞者を示す。今回は重複受賞が目立つが、 これは誰からも高く評価される発表が多かったことを示して いる。オンライン開催に当たっては、対面開催のような話し 合いの場を設けにくいため、「審査の進め方」について開催直 前まで議論された。結果的に上手くはいったものの、対面に はないオンライン審査の難しさを実感することとなった。

ポスター発表会に続いて、軽金属学会会長である熊井真次 先生(東京工業大学名誉教授)の特別講演会が開催された。 講演を引き受けていただいた際、「どのような話が良いか」と

表1 各賞受賞者(敬称略·順不同)

No.	賞	受賞者名		所属
1	最優秀ポスター賞	楠山	翔太	工学院大学(B4)
2	最優秀ポスター賞	須向	絢一	横浜国立大学(M2)
3	優秀ポスター賞	字野	祥平	長岡技術科学大学 (M2)
4	優秀ポスター賞	宮崎	凌	長岡技術科学大学(M1)
5	優秀ポスター賞	宍田拓太郎		芝浦工業大学 (M2)
6	優秀ポスター賞	石井	裕樹	茨城大学(D1)
7	関東支部賞	板野	真尊	芝浦工業大学 (M2)
8	関東支部賞	宇野	祥平	長岡技術科学大学(M2)
9	関東支部賞	池田	和樹	神戸製鋼所
10	関東支部特別賞	板野	真尊	芝浦工業大学 (M2)
11	関東支部特別賞	石井	裕樹	茨城大学(D1)
12	関東支部特別賞	宍田拓太郎		芝浦工業大学 (M2)
_13	優秀学生ポスター賞	楠山	翔太	工学院大学(B4)

問われたので、「学術的な話ではなく、 若手研究者に向けて何 かメッセージを」とお願いしたところ、後日、「思えば遠くに きたもんだ」という大変興味深い演題をいただいた。当初は [語りだけ] とのことであったが、当日はプライベート写真が ふんだんに盛り込まれた綺麗なスライドを準備くださり大変 感銘を受けた。語学を通じて才能を開花されたこと、若い頃 に知り合った方々とのご縁を大切にされてきたこと、またそ の方々が軽金属学会の基幹に係る重鎮となられていることに 驚かされた。そして最後に、「学生(若手研究者)」および「教 える側」に向けた貴重なメッセージを頂いた。熊井先生から そのスライドを提供いただいているので、読者の皆様にも紹 介する (図2)。

## これからの軽金属を支える学生諸君と先生へ

### 学生諸君へ

- □ グローバル人材? 人間カ? 起業家精神? 専門バカじゃだめですか? □「材料のことは材料に聞こう」「回答がないのは質問が悪いから」
- □「ぜひ裏表のある人間になって下さい」 □ 発表原稿を書くこと、自ら推敲を繰り返すことは重要
- □ 今明確な目標が見えなくても、その時々で最善を尽くしてみよう

## 先生へ

- 講義・実験の重要性 アルミニウム(軽金属)フェチの学生はいます! 「やってみせ、言って聞かせてさせてみて、褒めてやらねば人は 動かじ」
- (山本五十六)
- ▶「赤ペン先生」であり続けることは重要 細切れの時間をどう使うか
- 大学の垣根を越えた協力 講座制から教員制へ(大家族から核家族へ)

「人を育てる」はおこがましい 「人は育つ」と信じ、できる限りの支援を

図2 熊井会長からのメッセージ